

2-1					
主題	訪問介護の人材確保に関する効果的な広報、求人活動とは				
副題	次世代の介護人材の裾野を広げるために、今、できること				
キーワード 1	介護の魅力	キーワード 2	なし	研究(実践)期間	24ヶ月

法人名・事業所名	社福) 同胞互助会 訪問介護 ヘルパーほほえみ
発表者(職種)	豊泉信人(サービス提供責任者)、吉村和敏
共同研究(実践)者	遠藤晴美、丸山和代

電 話	042-541-1001	FAX	042-541-1466
-----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	社会福祉法人同胞互助会を母体とした訪問介護事業所です。従業員のほとんどが介護福祉士の資格を持ち、ヘルパーの8割は勤続年数10年以上で20年以上の者も4名と、その経験やスキルを活かし、利用者に「ほほえみ」と「優しさ」を届けることをモットーに運営しております。
-------	--

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

訪問介護事業所「ヘルパーほほえみ」は2000年に事業を開始した。5年後にはサービス提供責任者(以下サ責)が4名、登録ヘルパー(以下ヘルパー)は30名以上で利用者の登録人数は100名以上であった。時を経て介護報酬改定による収益減少に伴う低賃金や、ヘルパーの高齢等の理由で離職者が増えていた。少子高齢化や人口減少に伴う労働不足という状況下の中、それを補うために求人募集をするが思うように採用に繋がらず、慢性的な人手不足になっている。2024年5月現在、管理者、サ責2名、ヘルパー10名で運営をしている。介護職の給与は全産業の平均年収を比較しても決して高い給与水準ではないが、介護職員処遇改善加算の導入により改善傾向であり、厚労省、自治体、各団体等による労働条件の改善への働き掛けも見受けられる。その一方で世間一般の介護職へのネガティブなイメージはまだ残っているように感じる。コロナ以降は、特に在宅のヘルパーの人手不足は深刻な状況であった。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

訪問介護事業を持続していくには、若い世代の人材確保が必要である。求人媒体が多様化している昨今、まずはターゲットを若い世代に決めて、何をアピールすればよいか戦略的に考えて採用活動をする必要があった。若い世代に介護の魅力や当法人、当事業所の特徴や強みが認知されれば求職者も増えて人材不足が解消される。そしてICT、DXを駆使して効率性を図り、安定した運営状況のもとで事業を遂行していければ、介護難民解消、質の向上は勿論、開かれた福祉拠点に繋がると考察した。

《3. 具体的な取り組みの内容》

若い世代向けに2016年9月から動画サイトで事業所の紹介や活動の配信を開始した。また、2017年6月よりSNSで法人外への広報を開始する。当事業所のヘルパーの勤続年数の

平均は約 14 年と定着性に秀逸である。そこで、各ヘルパーに介護や当事業所の魅力、やりがいに関するアンケートを取り、生の声を積極的に各求人媒体に発信した。求人募集手段は主に、①ハローワーク担当者との密な連携と法人就職説明会を開催、②地域向けの求人チラシの作成、近隣住宅にポスティング、③就職後の業務内容のイメージの具体化、④若年層向けに「介護のお仕事」紹介として、各種技術に関する教育を実施、⑤SNS を活用した広告戦略、求人募集、⑥職員の友人や知人への声かけ、紹介。などを行った。

《4. 取り組みの結果》

動画配信や SNS の活用による再生回数、返信リアクションの数から当法人の認知度は上がっていると読み取ることができる。2024 年からの当事業所の求人募集は、ハローワークより 1 名紹介あり面接後に辞退となるものの、広告のポスティング後の 3 ヶ月間で、平均月 2 回の電話での問い合わせがあった。採用に至ったヘルパーは 1 名。その他での問い合わせ、採用はなかった。

《5. 考察、まとめ》

各ヘルパーにアンケートを取ったことや、法人の採用担当者、IT 担当者と協力して採用活動を行ったことで、普段は話す機会がない介護職のやりがいや魅力、社会的評価等を改めて内部で話し合うことができた。それにより事業所内はもちろんのこと、法人職員の団結力が強化された。介護職は身体的、精神的に大きな負担がかかる厳しい労働環境という問題もあるが、やりがいを感じられる事が大きな支えとなっていることを再認識した。介護福祉専門学校等が学生不足で減少する中、福祉業界以外からの転職者の獲得も重要と考える。「未経験から始められる」、「働きながら資格が取れる」、「具体的な仕事内容」等、求職者が求める情報や内容を今後も提供できるよう努めていく。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

令和 6 年度宮城県介護イメージアップ事業実施業務 企画提案募集要領

《8. 提案と発信》

介護職は、その人のパーソナリティを理解して、その人の唯一無二の今までの歴史を知った上で、その人を支援させていただく為、人生勉強となり人間性が豊かになる、魅力的な職業である。これから進路を選択する中高生にむけたイメージアップとその進路選択に影響力を持つ周囲の大人に向けて、介護職への親しみと正しい理解を今後も伝えていきたい。